

# 雪嶺集

〈宮坂静生 鑑〉



再訪 龍洞院

小林貴子

青田へと天の磐船下りる神  
いとけなき青田時なり芭蕉思ふ  
更科やにんじんの花猛々し  
夏草や姨岩の石こぼれさう  
遠くとも田は光るものきんぼうげ  
草藤は仲間の上へのしかかり  
長命縷吊してここは巫女の家  
五月蠅なす神耳もとで何か告ぐ  
晴子忌や徒渡りゆく薄き水  
静生句碑そびらに伸びる藪枯し